



## 祖父母参観・収穫感謝祭

先週の金曜日、天候に恵まれた中で収穫感謝祭・祖父母参観を行うことができました。

収穫感謝祭は、収穫に感謝すると共に、これまで米作りや総合的な学習の時間などの学習の中でお世話になった方々への感謝の気持ちを表すという趣旨で行う本校伝統の行事です。ご来賓に、営農センターの煤賀さん、JA内小友支店の菊地さん、コンバインを提供してくださった佐々木さん、余目地域活性化対策いきいき会議協議会の加藤さんをお迎えしました。



収穫に感謝する児童の作文発表の後は、いよいよ学年ごとに餅つきです。おじいちゃんが杵で十分にこねてから、子どもたちの元気な声に合わせて、おばあちゃんの合の手よろしく餅つきが始まりました。体育館には、子どもたちの「よいしょー」という掛け声が響き、おじいちゃん方の額にも汗が光ります。子どもたちも餅つきをさせてもらい、満足そうでした。つきたての餅は柔らかく、あんこ、みたらし、きな粉のどの餅も子どもたちに大

人気でした。漬物もおいしくいただきました。PTAの教育文化部の皆さんにも、前日から大変ご難儀をおかけしました。また、お忙しいところたくさんの方々にお出でいただきました。ありがとうございました。



午後からは、祖父母参観。どの学年もおじいちゃん、おばあちゃんにも参加してもらいながらの授業でした。お孫さんと会話しながら、楽しく過ごせていただけたと思います。おじいちゃんやおばあちゃん方の子どもたちを優しく見守る眼差しに、家族の思いや温かさを感じることができた秋の一日となりました。（HPに当日の動画がアップされています。そちらもご覧ください。）

## 指導主事計画訪問 ～6年総合 働く意味ってなんだろう？～

9日は指導主事計画訪問で6年の総合的な学習の時間の研究会が行われました。西中の職場体験発表会に参加したことをきっかけに、「お仕事ナビ」で様々な仕事に携わっている人々の仕事への思いを調べたことをもとに、「働くことって大変なことか」というテーマで討論会をする授業でした。「苦勞」「努力」「やりがい」「達成感」をキーワードとしながら働くことの意味について真剣に議論する姿は、さすが6年生でした。「それぞれの仕事に苦勞や努力しなければならないことがあるけれども、それがやりがいとなるのだと思います。」等、調べたことをもとに堂々と自分の意見を述べる姿に、思考の深まりとともに成長が感じられ嬉しくなりました。次の学習では、身近な方たちから仕事への思いや願いを聞きながら更に考えを深め、「未来につながる自分ノート」を作っていく予定です。

